

やまと通信

やまと石材がお届けする、手作り新聞

vol.202
2023.9

〔特集〕お釈迦様の有名エピソード

四門出遊と根本原理!? ・・・ 1・2ページ

仏像・あれこれシリーズ ヘー～そうなんだ！

如来の「身体チェック」しちゃいました!・・・Vol.7 ・・・ 3ページ

あったかご飯でご先祖様に感謝です ・・・ 4ページ

コロナ禍からの復活！

久しぶりのロープレ大会！！ ・・・ 5ページ

お客様の声 ・・・ 6ページ

良きご縁をありがとうございます ・・・ 7ページ



月を見上げるとそこには・・・！



「月にはウサギさんが住んでるんだよ」
子供の頃、母に言われて毎晩月を眺めていた記憶があります。あの頃は素直でした・・・

ということで、もうすぐ十五夜ですね。この「月に兎がいる」というお話は勿論伝説ですが、中国でも古くからいられております。兎の横に見える影は臼で、不老不死の薬の材料を粉にしているとされています。日本では餅をついている姿が一般的ですが古くは飛鳥時代に月の兎が描写されたものがあるそうです。今年はちょっとメルヘンな気分になってお月見を楽しみましょう。

〔特集〕

お釈迦様の有名エピソード

四門出遊と 根本原理!?



弘前店営業部 寺澤 綾子

こんにちは！弘前店の寺沢です。

皆様、今年の夏はいかがでしたか。7月から猛暑に悩まされ、お盆が過ぎても連日30度越えという異常気象でしたね。このやまと通信が発行される頃には涼しくなっているのでしょうか。

お釈迦様の誕生は「凄い！」

仏教と聞いてまず思い起こされる人と言えば・・・そうです！「お釈迦様＝釈尊」ですよね。釈尊は、本名をゴータマ・シッダールタといい、ネパールの国・シャークャ族の王子として生まれました。

母親（摩耶夫人）の右のわきから生まれ、すぐに立ち上がったのち7歩あゆみ、天と地を指差し「天上天下唯我独尊（天上天下にわれほど尊いものはない）」と宣言しました。この逸話はご存じの方も多いと思います。

※そういえば今年の青森ねぶたの山車の中に「釈迦降誕（しゃかごうたん）」という題名のねぶたが出陣しており、まさにこの時のお釈迦様の様子が描かれておりました。

人間の基本的な問題とは

その後、釈尊は叔母のマハーブラジャーパティーに育てられ、12歳の時に「弱肉強食」の世界を目の前にし瞑想にふけるようになります。

釈尊の父、浄飯王はこの様子を案じ出家への道を諦めさせようと、釈尊に毎日贅沢に満ちた生活を過ごさせました。

そんなある日、父王の勧めで釈尊は城の外へ遊楽に出ます。そこで見たものは・・・

まず東の城門から出たとき、見るからに衰えた老人に出会い遊樂の気持ちも失せてしまいます。次に南の城門から出た時は、病に苦しんでいる人に出会いました。三度目に西の門から出た時は、死者を運ぶ行列に出会い、そして四度目の北の城門を出た時一人の沙門（出家修行者）に出会ったのです。釈尊はその沙門の確固たる信念をもって生きる姿に感動を覚え、出家への決意を強固なものへとしていったのです。

これが「四門出遊（しもんしゅつゆう）」というエピソードとして語られるようになったのです。まさに釈尊が目にしたものは「生老病死」という人間の生命の基本的な問題を表現しています。

釈尊の教えでは、この「生老病死」の他に、四つの苦を合わせた「四苦八苦」という言葉があります。これは仏教の根本原理の一つだということです。

四苦八苦の考え方

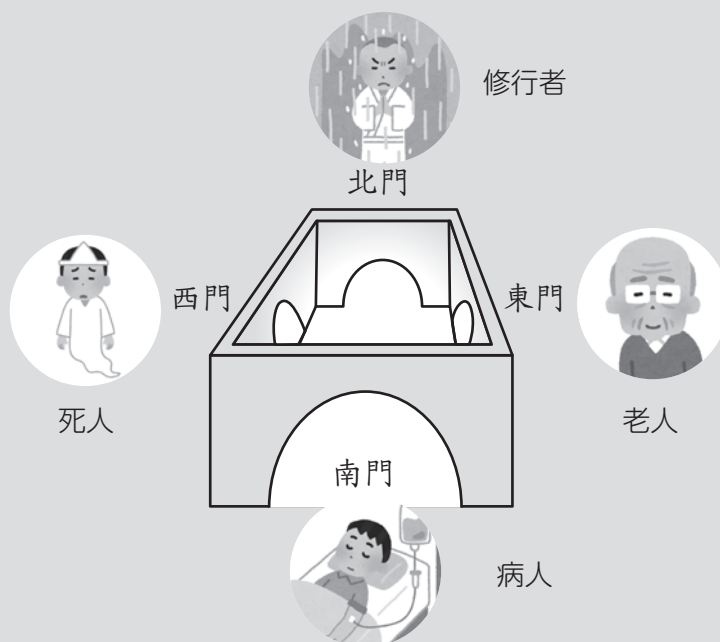
四苦

生：生まれる苦しみ

老：老いる苦しみ

病：病気になる苦しみ

死：死ぬことへの恐怖の苦しみ



八苦

愛別離苦（あいべつりく）：愛しているものと別れなければいけない苦しみ

怨憎会苦（おんぞうえく）：会いたくない人に対峙しなければいけない苦しみ

求不得苦（ぐふとくく）：求めても満足に得られない苦しみ

五陰盛苦（ごおんじょうく）：肉体にも心にも苦しみが起り、そこから逃れられない苦しみ



仏像・あれこれシリーズ

へえ～ そうなんだ！

こちらのコーナーでは、知っているようで知らない「仏像」のあれこれをお届けしていきたいと思います。・・・きっと誰かに教えてくなる・・・！？



青森店営業部 宮崎 陽

如来の「身体チェック」しちゃいました!・・・Vol.7

如来には「三十二相八十種好」と呼ばれる“仏の尊い身体的特徴”があるとされているそうです。身近な仏像(如来)は、これらの特徴に基づいて造っているそうです。

三十二相のほんの一部をご紹介します！

獅子頬相

(しきょうそう)

両頬が隆満して獅子王のよう。師子頬相(しきょうそう)ともいう。
＜意味＞悪い生活方法を捨て、正しい生活方法によって生活する

味中得上味相

(みちゅうとくじょうみそう)

何を食べても食物の最上の味を味わえる。
＜意味＞どんな人々の願いも満足させる

大舌相

(だいぜつそう)

舌が軟薄で広く長い。
＜意味＞嘘が無く誠実である事を表す

梵声相

(ぼんじょうそう)

声は清浄、遠くまで聞える。
＜意味＞話を聞くものに敬愛の心が起き、よくわかり、飽きない



～おまけ～

「八十種好」とは・・・三十二相をさらに細分化した仏様の特徴です。

「立ち居振る舞いの威厳あること師子のよう。(儀容如師子)」、「歩くことも立ち止まることも象王のよう。(進止如象王)」、「歩くときは片足づつ交互に運び、鷲鳥のよう。(行相如鷲王)」などがあります。

仏様のお姿にはひとつひとつ意味があり、人々の願いが込められていると思うと感慨深いですね。

あったかご飯で ご先祖様に感謝です



ショールーム課 佐藤 江里子

秋と言えば“食欲の秋”。毎日のご飯がおいしく感じられ、知らず知らずのうちに箸を動かしている自分がいます。

ということで、今回はお仏壇に毎日お供えするご飯についてです。

ご先祖様に毎朝、おはようの挨拶がわりにご飯をお供えする方も多いかと思います。実はこの作法には大切な意味が込められているのでご紹介します。

昔は今のよう、庶民が毎日お米を食べられるということは少なかったと思います。お米を食すこと自体がとても幸せなことだったのです。お仏壇にお供えするご飯は、その喜びと感謝をまず仏様に報告するという行為なのだそうです。

ですからお仏壇には、炊き立ての最初の一膳をお供えするように言われていたのですね。また、お仏壇から下げたご飯は感謝の気持ちを持って残さずいただきます。うっかり忘れてお仏壇に上げたままにしておくと乾いて粗末になってしまいます。ご先祖様のためにも気を付けたいものです。



ご飯の盛り付け方は宗派による違いはありますが、蓮のつぼみや蓮の実の形を模ったとされています。



今では当たり前の真っ白なご飯。こうして毎日食べられるということは必ずしも当たり前のことではないのですね。改めてご先祖様に感謝です！合掌

コロナ禍からの復活！

久しぶりの ロープレ大会!!



青森店営業部 平田 響子

こんにちは！青森店の平田です。今回は久しぶりに開催されたロープレ大会の模様をお届けいたします。

思い起こせば3年前、コロナが全国的に蔓延する直前に行われた、ランドワークグループのロープレ大会を最後に数年間の休養を与えられました。・・・私たち営業担当にとりましては不幸中の幸いで、願ってもないことでした。

なぜかと言いますと、このロープレ大会は大きなステージに営業役とお客様役の2人だけが残され、日ごろのお客様に対しての正しい言葉遣いや所作などを審査されるという、過酷な環境に置かれるわけです。ほんとに逃げたくなります。

見つめる眼差しは、グループの代表からグループ各社のお偉方、はたまた弊社（やまと石材）の社長などそうそうたるメンバーです。胃も痛くなるというものです。

そんな中で繰り広げられる演技の数々。もちろんこの大会に向けて練習は怠りませんでしたが、いざ本番となると緊張の連続です。

自分の中では実力を発揮できずフェードアウト・・・という感じだったのですが、いざフタを開けて見ると、おかげさまで来店営業部門の「優秀賞」に選ばれてしまいました。

審査員の方々の寸評では、全員が日ごろの練習の力を発揮し、僅かな差で平田が優勝ということでした。

本当にありがたいことではありますが、さらに緊張感アップです。

この大会で学んだことを普段の活動に活かすことが私の使命だと思います。がんばりますので応援よろしくお願いします！



モニターに映し出されたお墓を見ながら商品説明をしております。差し出す手にも力が入ります。



表彰状を頂いたことで、あらたな緊張感が沸き上がりました。初心に帰って新たなスタートを切りたいと思います。

お客様の声

やまと石材に大切なお墓づくりを託していただいたお客様からのおたよりです。
本当にありがとうございました。

大変満足のいく 新しいお墓ができました。

板柳町・T様

今回、御縁があり、お墓の立て替えをやまと
石材 ュマンにお願いしたところ、設計から魂入れ
まで、色々御相談にのっていただき、ありがとうご
ざいました。

工事もスムーズに進み、大変満足のいく新しい
お墓ができました。家族一同、いから感謝しております。
スタッフの皆さんに、厚く御礼を申し上げます。



ご先祖様を心から敬う気持ちが、今回のお墓の建て替えに
繋がったような気がします。

完成したお墓はおしゃれなデザインの和洋折衷型で、広々
とした敷地の中でゆっくりとお墓参りができそうです。

担当者からひとこと

T様、この度はやまと石材
に大切なご先祖様のお墓づく
りを託していただき、誠にあ
りがとうございました。ご家
族の皆様も満足されていらっ
しゃるようで、私も嬉しく思
います。

今後ともよろしく願いい
たします。



弘前店営業部 山内 一磨



良きご縁をありがとうございます

上北郡野辺地町	弘前市館後	平川市新屋町	青森市原別	北津軽郡板柳町	黒石市柵ノ木	青森市浜田	青森市浪岡	青森市佃	むつ市大畑町	弘前市清野袋	弘前市黒滝	弘前市撫牛子	青森市富田	弘前市高杉	北津軽郡中泊町	五所川原市高野	弘前市原ヶ平	青森市大野	北津軽郡鶴田町
佐藤様	三上様	古川様	小笠原様	立田様	佐藤様	小山内様	鎌田様	神様	田中様	藤田様	溝江様	成田様	霞様	工藤様	三橋様	楠美様	尾崎様	玉熊様	成田様
青森市石江	青森市鶴ヶ坂	平川市猿賀	弘前市青山	黒石市牡丹平	青森市千富町	青森市三内	東京都世田谷区	青森市桜川	北津軽郡鶴田町	青森市石江	青森市油川	青森市小柳	北津軽郡板柳町	上北郡東北町	青森市筒井八ッ橋	青森市浪岡	青森市矢田	南津軽郡大鰐町	黒石市北美町
竹内様	浅利様	三上様	久米田様	渡邊様	山舘様	千葉様	山口様	菊池様	三橋様	小山様	大谷様	江上様	成田様	久保田様	小野様	横濱様	今様	山中様	村上様

※今月号で紹介しきれなかったお客様は、また次の機会に掲載いたします。



青森店



弘前店

Landwork 日本最大36店舗の
ランドワークグループ 墓石専門店グループ

墓石と仏壇
やまと石材

【青森本店】〒030-0946 青森市古館1-13-13
TEL. 017-744-1488 FAX. 017-765-1388

【弘前店】〒036-8076 弘前市境関1-1-1
TEL. 0172-27-1455 FAX. 0172-27-1492

E-mail info@yamatosekizai.com

友達募集、今すぐ登録！



青森 やまと石材

検索

編集後記

このやまと通信も5月以来の発行となります。期間は開いてしまいましたが皆様お元気でしょうか。夏バテにもめげず、食欲の秋に向けて張り切って参りましょう！
(佐々木)